

努力が楽しくなる

校長 高橋 馨

夏休みが終わり、学校に生徒たちの元気な声と笑顔が戻ってきました。夏休み中、家庭や地域で過ごす時間の中で、それぞれに新しい経験や気づきがあったことと思います。学級や学年での活動を通して、夏休み中の経験や自身の成長、変化を伝え合いながら、少しずつ学校生活のリズムを整えていきましょう。そして、2学期も一日一日を大切に、それぞれの目標に向かって進んでいきましょう。

先日、青森県の特別支援学校での実践発表を聞く機会がありました。その学校では、「令和の手仕事、ハンドメイドプロジェクト」を立ち上げ、作業学習の改善に取り組んでいました。発表では、「質にこだわったら 努力が楽しくなっていました」という言葉とともに、改善に取り組む様子が紹介されました。スライドに写る生徒たちの真剣な表情からは、努力を重ねることで少しずつ目標に近づき、その積み重ねが成果につながっていくこと、そして、努力すること自体が楽しさへと変わっていくことが伝わってくるようでした。私は本校の新たな指針でもある「楽しく努力」と重なるものを感じ、うれしく思いました。

2学期も、毎日の授業はもちろん、修学旅行や移動教室、現場実習、職場体験など、生徒たちが力を発揮する場面が多くあります。だからこそ大切なのは、その時だけ頑張るのではなく、目標に向かって日々の学びを大切に、小さな努力を着実に積み重ねていくことです。学校は、生徒一人一人の努力と成長を支えてまいります。引き続き、本校の教育活動への御理解と御協力をお願いいたします。

夏休み部活動の様子

夏休み中も部活動が行われました。暑い中ではありますが、生徒たちは元気に登校し、各部活動での活動に集中して取り組んでいました。(田中 良明)



ベースボール部

～応援ありがとうございました～

7月10日(金)に夏の高校野球西東京大会に参加しました。目指せ！勝て挑みましたが、相手校の猛打を防ぐことができず、0-20で残念ながら敗戦でした。敗戦の中でも部員たちは自らの力を全力で出し切っていました。そんな部員たちの姿を見て、みんな本当に野球が好きなんだと、改めて感じました。当日は平日にも関わらず、たくさんの応援、本当にありがとうございました。また頑張ります！(久保田 浩司)



八丈分教室

夏季休業中は、部活動での夏まつり販売活動や夏季水泳、夏季登校などがあり、生徒たちは様々な活動に意欲的に取り組みました。長い夏季休業が終わり、分教室では9月5日、6日の文化祭の準備が始まります。今年もカフェ営業や舞台発表に向けて、生徒一人一人が自分の役割や持ち味を発揮できるよう練習に励んでいきます。(向山 琢斗)

